

問題

宇治拾遺物語「尼、地蔵を見奉る事」

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

今は昔、丹後国に老尼ありけり。地蔵菩薩は 暁ごとくにありき<sup>A</sup>給ふといふことをほのかに聞きて、暁ごとに地蔵見奉らんとて、ひと世界惑ひありくに、博打の打ちほうけてゐたるが見て、「尼君は寒きに何わざし<sup>B</sup>給ふぞ」と言へば、「地蔵菩薩<sup>W</sup>の暁にありき給ふなるに、会ひ<sup>C</sup>参らせんとて、かくありくなり」と言へば、「<sup>①</sup>地蔵のありかせ給ふ道は我こそ知りたれ。いざ<sup>D</sup>給へ。会はせ参らせん」と言へば、「あはれ、うれしき事かな。地蔵のありかせ給はん所へ、我をゐておはせよ」と言へば、「我に物をえさせ給へ。やがてゐて<sup>E</sup>奉らん」と言ひければ、「この着たる衣、<sup>F</sup>奉らん」と言へば、「<sup>②</sup>さは、いざ給へ」とて隣なる所へゐて行く。

尼、喜びていそぎ行くに、そこ<sup>X</sup>の子に地蔵といふ童ありけるを、それが親を知りたりけるによりて、「地蔵は」と問ひければ、親、「遊びに往ぬ。<sup>③</sup>今来なん」と言へば、「くは、ここのなり。地蔵のおはします所は」と言へば、尼、うれしくてつむぎ<sup>Y</sup>の衣を脱ぎて取らずれば、博打はいそぎで取りて往ぬ。

尼は、地蔵見参らせんとてゐたれば、親どもは心得ず、<sup>④</sup>などこの童を見んと思ふらんと思ふほどに、十ばかりなる童の来たるを、「くは、地蔵よ」と言へば、尼、見るままに是非も知らず、臥しまるびて、拝み入りて土にうつぶしたり。童、すはゑを持って遊びけるままに來たりけるが、そのすはゑして手すさみのやうに額をかけば、額より顔の上まで裂けぬ。裂けたる中よりえも言はずめでたき地蔵<sup>Z</sup>の御顔、見え給ふ。尼、拝み入りてうち見上げたれば、かくて<sup>⑤</sup>立ち給へれば、涙を流して、<sup>⑥</sup>拝み入り参らせて、やがて極楽へ参りにけり。

されば、心にだにも深く念じつれば、仏も見え給ふなりけりと信ずべし。

※ひと世界…辺り一帯。 ※博打…ばくち打ち。 ※すはゑ…木の小枝。

- (1) ~~~ A～Fの敬語は、誰から誰に対する敬意を表しているか。  
 【人物】の記号を使って、【例】にならってそれぞれ答えなさい。  
 【例】老尼から地蔵菩薩に対する敬意 ↓ a→b

【人物】

- a 老尼 b 地蔵菩薩 c 博打 d 作者 e 読者

- (2) W～Zの「の」のうち、他の三つと用法の異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- (3) ①を口語訳しなさい。

- (4) ②について、博打は老尼をどこへ連れていくつもりだったのか。

- (5) ③の口語訳として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 老尼はきつと来るだろう イ 老尼が来てほしい

ウ 地蔵はきつと来るだろう エ 地蔵が来てほしい

- (6) ④を口語訳しなさい。

- (7) ⑤の主語を答えなさい。

- (8) ⑥について、主語を明らかにして口語訳しなさい。

- (9) 本文が収められている書物名を答えなさい。

解答

宇治拾遺物語「尼、地蔵を見奉る事」

- (1) A d→b B c→a C a→b D c→a

- E c→a F a→c

- W

- (3) (例) 地蔵が歩きなされる道は私が知っている

- (4) (例) 「地蔵」という名前の子どもがいるところ。

- (5) ウ

- (6) (例) なげうちの子を見ようと思うのだろうか

- (7) 地蔵(菩薩)

- (8) (例) 老尼は拝み申し上げて、そのまま極楽往生した。

- (9) 宇治拾遺物語